

故竹田敏君出版記念&追悼会を開催(4月14日、@日本橋)

竹田敏君(10組)が急逝したのは2年前の2月であった。昆虫科学研究の第一人者であった彼は蚕(蚕糸)の専門家でもあった。生前から執筆準備をしていた研究成果が、このたび奥様の尽力や仲間の研究者の協力で著書となり、彼の命日である2月21日に刊行された。

題名は『幕末に海を渡った養蚕書』(東海大学出版部、1,600円)。

出版記念と追悼を兼ねて同期で集まろうと関東の幹事役3人が相談して、彼と親しい同期に呼びかけた。

4月14日(木)夕方、人形町の「グリルつかさ」には、当初は数名でもと思っていたが、10組以外、関東以外(上田、坂城、丸子、小諸、松本)からも大勢の同期が集まった上に、竹田君の奥様(三枝子さん)も駆けつけて、予想以上の盛会となった。

遺影、遺稿句集(「竹酔郎百句」、著書を前に三枝子さんのスピーチがあり、それに続いて出席者から感慨深い話が繰り出された。

きっと天上の竹田君も喜んでくれたことと思う。

本の内容は一読するに限るが、一般書店では購入が難しいので、関心のある人はNETで注文することをお勧めしたい。

後日、奥様から礼状が届いた。

「…皆様のお話を伺いながら、この場に夫がいたらどんなに喜んだことかと、今更ながら残念に思いました。私の知らないエピソードも次々に出て、何とも嬉しい時間でした。上田高校の同級生、同期生というご友人たちを持てたことは、夫の生涯にとって、どんなに幸せであったことでしょう。

心より感謝申し上げます。…」

[2016年4月25日、幹事団(宮沢、神宮、上原)を代表して上原記]

【写真1】会の様子



【写真2】スピーチする竹田三枝子さん



【写真3】集合写真

前列左から神田、竹田夫人、木村、武澤、上原

後列左から山極、神宮、佐藤(彰)、山浦(信)、西澤、宮沢、宮崎、小山田

宮原、原田、柳沢(英)

